



高原の自然館ニュースレター

苅尾電波塔

第 45 号

2007.10.1

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめて「かりお」
の名前をつけています。

も く じ

お知らせ

- 一第 11 回 八幡湿原再生協議会が開催
- 一八幡湿原自然再生工事が進行

活動報告

- 一雲月山の植物観察会
- 一霧ヶ谷湿原の植生調査

観察会案内

- 一キノコの観察会
- 一寒曳山の植物観察会
- 一紅葉の山でゴギの産卵観察会
- 一千町原草原の保全活動

お し ら せ

● 第 11 回 八幡湿原再生協議会が開催されます

開発により失われた湿原を再生し、地域の自然環境を保全するために広島県が進めている八幡湿原自然再生事業の協議会が 10 月 13 日土曜日の 13:00 より八幡高原センターで開催されます。12:30 から傍聴の受付が行われます。傍聴定員は設けられていません。興味のある方は覗いてみてください。

● 八幡湿原自然再生工事が進行しています

環境省が補助し、広島県が行う「八幡湿原自然再生事業」の工事が二川キャンプ場の近く、霧ヶ谷で進んでいます。これから事業地はどんどん姿を変えていきます。今の内に、今の姿を、ぜひ見ておいてください。

今後の観察会予定

- | | | | |
|-----------|------------------|----------|-----------------------|
| 10 月 20 日 | キノコの観察会 | 9 日 | 冬の工作「小鳥を呼ぼう、かんじきで歩こう」 |
| 21 日 | 寒曳山の植物観察会 | 1 月 20 日 | アニマルトラッキング |
| 11 月 11 日 | 紅葉の山でゴギの産卵観察会 | 2 月 17 日 | スノートレッキング |
| 23 日 | 千町原草原の保全活動 | 3 月 9 日 | スノートレッキング |
| 12 月 2 日 | 八幡高原の冬鳥&越冬する樹木の姿 | | |

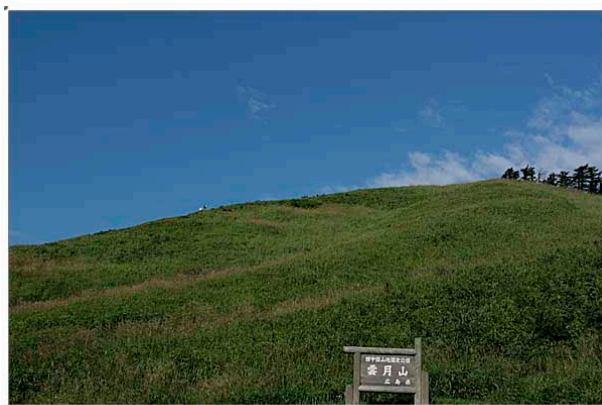
観 察 会 報 告

● 雲月山の植物観察会

開催日時：2007年9月8日（土）9:30

講師：佐久間智子・和田秀次

前日の雨がすっかり止み，秋晴れの観察会となりました。県境に近い駐車場に参加者33名が集まり，今回の講師，佐久間先生と和田先生からお話を聞きました。参加者の中には初めて雲月山に来られた方もあったようです。晴れ渡る空の下，一列になり観察しながらゆっくりと登ります。講師以外にも博識な方がたくさんおられて，興味深い話をたくさん聞きました。中でも印象的だったのは「山でうまいのはオケラにトトキ（ツリガネニンジン），里でうまいのはなす，かぼちゃ」という俚謡があると教えていただいたことです。オケラもツリガネニンジンも咲いており，食べられることがわかりびっくりしました。秋の七草もオミナエシ・キキョウ・ハギ・オバナ（ススキ）・ナデシコと5種類登場しました。ススキなどの単子葉植物の根に寄生するオオナンバンギセル，他の植物からも栄養をとり自ら光合成もする半寄生植物のマコナやカナビキソウと，栄養の取り方に特長がある植物が目をひきました。また，出発前に佐久間先生から配られた地図を手にしながらかくと，山焼きをしたところ，または全くしていないところ，鳥根県側と分けて見ると生えている植物たちが違うのがわかりました。全体的な印象としては，山焼きを始めてから草花が増えた，との声がありました。後半には牛も登場し，のんびりと草をはむ様子を見ると和みました。この牛たちは山の斜面に対して平行に歩くので，そのせいでくっきりと道がついていました。どんな植物でも食べるわけではなく，有毒成分を持つレンゲツツジやオキナグサなどは食べのこすそうです。和田先生はこの環境を「階段状植物群落の途中」だとお話しされました。最後に集合してまとめをし，今回の観察会で見た植物は50種類以上だということがわかりました。ススキの穂が風に揺れ，青空の下に秋の草花たちが咲き乱れる，楽しくて心地よい植物観察会となりました。[こ]



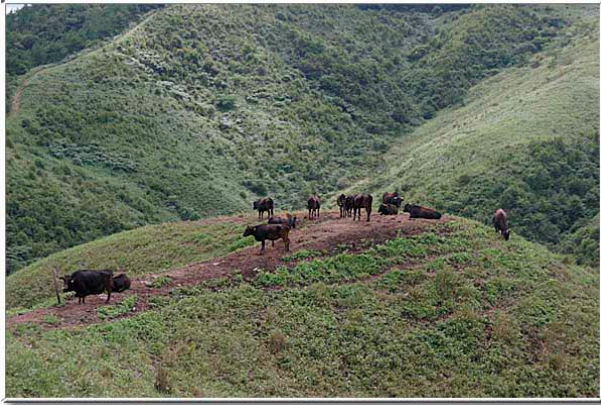
毎年晴れる雲月山の観察会。今年も晴れた～!!



最初の休憩。広々とした景色に疲れも癒され，みなさん笑顔!



一列に連なり歩く。写真を撮ったり，花に近づき観察したりと楽しみ方はイロイロ。



牛がいる雲月山の風景．気持ちのがんびりするのがわかった．



キュウシュウコゴメグサを発見．みんなで集まって観察．



最後のまとめ．出会った植物は50種類以上だったことに参加者みんなが驚いた．

写真を提供いただいた小宮さん，ありがとうございました．

【みなさんの印象に残った物】

「色々なこと教えて頂いて楽しかった．」「秋の草原に美しい花が大変多く見られたこと」「種類の多さと草原の緑．」「和田先生のだじゃれ(楽しかった)」「美しい自然の中でゆったり過ごせたことです．」「マルバハギ・キバナアキギリの花は虫がやってくるとおしべがでてくるという花の仕組みが分かったこと．」「オミナエシ・ツリガネニンジン・カワラナデシコ・ススキ．フシグロセンノウ．一番に選ぶのは大変．」「すばらしい秋でした．」「さわやかな秋の風をうけながら最高の気分でした．」「オオナンバンギセルと出会えた．(3)」「昨年より花が色々おおくなくなった気がしました．」「秋の花の多いことです．焼いたあとにも沢山の植物が生えることに驚き．」「表の裏を見よ．何かある，でした．」

【参加したみなさんの感想(抜粋)】

「楽しく勉強できました．地図があつて良かった．」「のんびりときれいな空気を吸って歩けたのがよかったです．園芸種のオミナエシは知っていましたが，自然の中に咲くオミナエシはかわいらしく，とてもステキでした．」「遠くから見ると草原にしか見えない山も，40～50の花が咲いていてとてもきれいだった．」「沢山見れて大変楽しかった．」「満足」「色々な花に出会いよかった．草原の景色をいつまでも残しておきたいものです．」「人数(参加者)が多かったこともあり，説明が聞けない部分が多々あった．」「山焼きをして小さな植物が増えて草原の景色がすばらしい．」「暑かったけど，とても風がきもちよかった．」「来年もよろしく．」「初めての参加でしたが自然とふれあえて良かった．」「花も人も一期一会．今日の花たちは最高です．」

観 察 会 報 告

● 霧ヶ谷湿原の植生調査

開催日時：2007年9月17日（月）9:30

広島市内などでは豪雨の所もあつたようですが、八幡高原では晴れ間も覗くお天気でした。今回の調査に集まったのは11人。4つの班に分かれて調査を行いました。各班3～5のプロットを調査したのですが、手際よく調査が進められ、お昼前には調査が終了しました。今年からは「ダンポール」という目印を立てておいたので、調査プロットを見つけやすくなったことも早かった要因だと思います。これについては、かなり前から指摘があつたのですが、やっと方法が定着しました。これまでに参加したみなさん、手間をおかけしました。実験地の反対側では、藪が切り開かれ、自然再生工事が進んでいました。見晴らしが良くなった霧ヶ谷を見ると、なんだか感慨深いものがあります。こうして実験地の調査を続けてきたことが再生事業に繋がったことを思うと、これからも続けていけないといけないと改めて感じました。

自然館に戻り、調査のまとめをしました。初めて参加した方は、ほんのわずかの面積にたくさん植物が生育していることや、調査の専門家の知識に驚かれていたようです。今回は現地で同定できなかつた種はほんの数種だったので、午前中で解散しました。お昼ごはんを食べ終わるころには雨になり、今回もお天道様が味方してくれたんだな、と思いました。[し]



調査を始める前のレクチャー。



今回は4班に分かれて調査をした。



実験地と反対側にある、工事中の自然再生事業地を眺める。木が伐採されて、すっかり風景が変わった。



導水したプロットで、ヨシ、コバギボウシ、ヒメシロネなど、多様な湿地生植物が見られた。



八幡湿原自然再生事業は、公園整備でも河川改修でもなく、湿原を再生する工事。



氾濫原を再現するために、コンクリートの側壁が壊され、河川の構造が変えられていく。



調査を終え、自然館の前でまとめをした。

調査指導をし、写真を提供してくださった大竹さん、渡邊さん、佐久間さん、小宮さん、ありがとうございました。

【みなさんの印象に残った物】

「乾いた所も湿った所も植物の種類が以前より少なくなってきた」「No.14 でトモエソウがたくさん実をつけていた。けっこう増えた気がする。」「イが多かったこと。」「楽しい調査です。」「湿地の様な所になりつつある感じがしました。」「中野さんが種も調査法もよく覚えてらした。」「一種もしくは数種の優占種のプロットだったこと。」「1m×1mの中にほんとうに何種類もの草花があることに感心致しました。」「調査をし、変化をみとどけて、他の人に理解してもらう」この地道さが大切だと思いました。」

【参加したみなさんの感想】

「平素の生活に関係ない事をするのも面白い」「徐々に変化していく姿をおいかけるのはおもしろいですね。」「続けて来られる方が増えて頼もしい感じがします。」「毎年の変化が楽しみです。」「定期的に見られるのがおもしろい」「湿生の種や貴重種が出たりするといいですね。」「どうにか草花の名前が覚えられてうれしく思っています。」「よくみると1m×1mにたくさんの種があると思いました。ふだん広いところで目立つ花をみているので、こういう方にもみみるのもおもしろいとおもいました。」「小人数のコンビネーションで調査が進んでいくのがよかった。」「もの知りに感心しました。」「変化などを話しながらみんなと一緒に調査ができて楽しかったです。」

観 察 会 案 内

観察会に参加される時には、次のようなものを持参してください。カメラ、双眼鏡、ルーペ、図鑑などもあれば、楽しいと思います。

基本セット：山を歩ける服装、雨具、飲み物、おやつ、筆記用具、メモ帳
作業セット：作業ができる服装、長靴、軍手、雨合羽、飲み物、おやつ

● キノコの観察会

開催日時：2007年10月20日(土)9:00
集合場所：高原の自然館
講師：山手万知子
準備：基本セット、キノコを入れるかご、弁当(お昼にキノコ汁をしますので、ごはんを持ってきて下さい)
定員数：30名
参加費：1,000円(ただし、西中国山地自然史研究会会員は500円)

高原の自然館を拠点に、キノコを採取して観察します。キノコの同定は、慣れた人でも難しいものもあり、一つずつ覚えていくしかありません。今回は山手先生に同行いただいて、採取したキノコを分類します。奥深い、キノコの世界を覗いてみませんか?観察会の後は、試食会も企画しています。

● 寒曳山の植物観察会

開催日時：2007年10月21日(日)9:30
集合場所：わさーる大朝
講師：佐久間智子
準備：基本セット、弁当
定員数：30名
参加費：300円(ただし、西中国山地自然史研究会会員は100円)

大朝にある寒曳山に登ります。西中国山地自然史研究会では、初めての観察会です。スキが広がるスキー場には、秋の草花が咲き、天気が良ければ山頂からの眺めも良いでしょう。

● 紅葉の山でゴギの産卵観察会

開催日時：2007年11月11日(日)9:30
集合場所：八幡高原センター
講師：内藤順一
準備：基本セット、弁当、双眼鏡
定員数：30名
参加費：300円(ただし、西中国山地自然史研究会会員は100円)

西中国山地自然史研究会では、毎年10月にサツキマス(アマゴ)の産卵を観察し続けてきましたが、今年はゴギの産卵を観察します。ゴギはサツキマス(アマゴ)と同じサケ科の魚ですが、アマゴより上流の細い川に生息します。また、産卵もサツキマスよりずいぶん遅く、秋が深まり、冬の気配が色濃くなったころになります。寒くなる可能性があるため、十分に防寒対策を整えて参加してください。

● 千町原草原の保全活動

開催日時：2007年11月23日(金)8:30
集合場所：高原の自然館
準備：作業セット、弁当
参加費：500円

かつて、千町原では広々とした草原に、マツムシソウやワレモコウ、ユウスゲなどが咲いていたようですが、いまはそうした草花が咲く場所はほんのわずかになってしまいました。樹木の生長を抑制し、草原の景観と生態系をとりもどす作業に、どうぞご参加ください。

最近、毎日のように霧ヶ谷を訪れます。中央の水路では、土砂流出を防ぐための隔壁や、水を取るための堰が作られ、コンクリートの側壁が取り壊されていきます。これまで、工事車両が動いているのを見ると、自然が無くなっていると感じていたのですが、ここでは無くなった自然を取り戻すために工事が行われています。なんとも不思議な、うれしい気持ちです。

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先(ご意見・ご感想もお待ちしております)

高原の自然館(こうげんのしぜんかん)

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原119-1
tel. & fax : 0826-36-2008
<http://shizenkan.info/>
staff@shizenkan.info